**令和〇年〇月〇日**

**〇株式会社
〇部
〇 〇 様**

**株式会社〇
〇部
〇 〇**

**特許権侵害に関するご指摘への回答**

**拝啓　貴社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。**

**平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。**

**さて、過日いただきましたご書面におきまして、弊社が本年4月に発売いたしました「△△」が、貴社製品「□□」（特許登録番号 第X号）の特許権を侵害しているとのご指摘を拝受いたしました。**

**当該件につきまして、弊社技術開発部および外部特許専門家を交えて慎重に検討を行いましたが、貴社のご主張内容については、事実関係および法的根拠のいずれにおいても容認いたしかねるとの結論に至りました。**

**まず、貴社が特許請求の範囲として主張されている「AAA構造」および「BBBシステム」については、弊社製品において同一の構成・制御アルゴリズムは使用しておりません。**

**弊社「△△」に採用している風量制御技術は、2019年より社内独自開発を進めており、貴社製品のリリース以前に既に国内展示会および業界技術誌にて公表済みの技術に基づくものです。**

**したがいまして、本件は貴社特許の範囲には該当せず、特許法第68条の権利行使要件にも抵触しないものと認識しております。**

**また、弊社が使用している主要機構（特許出願番号○○）は、すでに弊社独自技術として特許庁により登録済みであり、貴社側が主張される構成とは明確に異なるものであることを確認済みです。**

**以上の理由から、貴社の主張する特許権侵害のご指摘には法的根拠が認められず、弊社としては侵害行為に該当しないとの確信を持っております。**

**なお、本件につきまして今後のやり取りは、弊社顧問弁護士である「弁護士法人 御堂橋法律事務所」 土橋祐二 弁護士を通じて対応させていただきます。**

**以後のご連絡は同弁護士宛にお願いいたします。**

**弊社といたしましても、無用な紛争を望むものではなく、あくまで事実と法的根拠に基づいた建設的な協議を希望しております。**

**今後、貴社側におかれましても事実関係を再確認のうえ、冷静かつ誠意あるご対応を賜りますようお願い申し上げます。**

**まずは書面をもちまして、正式な回答とさせていただきます。**

**敬具**